

2021年度版 日本空調システム株式会社 環境活動レポート

環境に関する経営理念

きれいにしよう日本の空を

弊社は、1975年(昭和50年)に親会社である日本空調サービス株式会社から分離独立し、愛知県における運転管理及び保守管理業務に特化した会社として地域社会と共に歩んでまいりました。

その間には、空調だけではなく電気設備・衛生設備・防災設備のメンテナンスから工事と事業範囲を広げ、24時間遠隔監視システムと体制を整備し、お客様のあらゆる御要望に応えることができる会社を目指して成長を続けているところです。

特に、大切なお客様の建物・設備を24時間365日守り続けるために、全ての現場の常駐員は外部委託せず自社社員で構成し、その社員の技術力を向上させることが、お客様サービスの品質を確保することと捉えております。

品質・環境方針

当社は、1)コンプライアンスの実践 2)ステークホルダーの幸福を追求 3)劇的な技術力の向上を推進、の3項目を経営方針に掲げ、全ての事業活動において高品質なサービスの提供と地球環境保全への貢献に対し継続的に取り組みます。

- 〔1〕お客様の建築物及び空調・給排水・衛生・電気・防災その他関連設備の管理業務を通じ、サービス品質の向上と快適性の追求、省エネルギーの提案と実践によるトータルマネジメントで顧客満足最大化を目指します。
- 〔2〕『あいちCO2削減マニフェスト宣言事業所』及び『名古屋市優良エコ認定事業所』としての取り組みを通じ、環境負荷(CO₂)の低減と汚染(フロン類、産業廃棄物、毒物劇物、煤煙、騒音、振動等)の予防に努めます。
- 〔3〕当社経営理念と行動規範に則り、法令・諸規程と社会的規範を遵守し適正な事業活動を行います。
- 〔4〕CSR活動の多様化と適正な納税により、地域社会とその発展に貢献します。
- 〔5〕教育システム改革による人材育成により、資格取得推進と技術力向上を図り、社会のニーズに貢献できる従業員を育成します。
- 〔6〕部門ごとに品質・環境目標を設定し、定期的に見直すことにより、品質環境マネジメントシステムを継続的に改善していきます。

この品質・環境方針は、全従業員と当社と共に働く全ての人に周知徹底すると共に、広く社会にも公開します。

事業所の概要

【事業所名】日本空調システム株式会社

【所在地】名古屋市東区白壁一丁目9番地

【従業員数】64名(取締役4名含む)

【主な事業内容】1)空調・電気・給排水設備の設計・施工・保守・管理・整備

2)防災設備の設計・施工・保守・管理 3)空気環境測定及び貯水槽等の清掃

4)ボイラー、冷凍機等の設置・施工・整備 5)空調機械器具の販売・修理

【担当者】FM事業部 品質管理室 本山 邦雄

【環境責任者】代表取締役社長 首藤 健

環境に配慮した取組の状況

1 目標と実績

(1) 目標

- ・ 温室効果ガス排出量：前年度比 1%削減（4%削減）

(2) 実績

	平成 28 年度	昨年度（R 2 年度）	削減率
温室効果ガス排出量	120.6 [t-CO ₂]	116.5 [t-CO ₂]	3.4%

【目標と実績の差異理由】2020 年に発生したコロナ感染拡大による対策として、換気運転（窓・扉等開放）による冷暖房運転により、電力使用量が増大した。

一方、小型自動車については次世代自動車を 6 台更新したことにより、ガソリン使用量が減少した。

2 具体的な取組内容

【電気使用量の削減】

- ①空調設備のスケジュール発停管理（時間・週・切忘れ 3 段階停止）
- ②ノー残業デーの徹底による、無駄な光熱費削減（原則毎週水曜日）
- ③不要照明器具消灯
- ④照明設備の共用部分（廊下・階段・湯沸し室・トイレ）の人感センサーによる制御

【ガソリン使用量の削減】

- ①車両更新時に次世代自動車への更新（小型自動車）
- ②テレマティクスサービス導入による管理

3 目標の達成状況 【評価】◎：完全実施 ○：概ね実施

具体的な取組内容		成 果	評 価
電気使用量の削減	空調設備のスケジュール発停管理	タイマーによる自動起動から使用実態に合わせた手動起動とし、切り忘れのオフターマーを 3 段階停止（18 時・22 時・0 時）に変更したことにより、電気使用量の浪費を抑えた。	◎
	ノー残業デーの徹底による、無駄な光熱費削減	各部門において、原則水曜日に実施した。	◎
	不要照明器具消灯	全居室で昼 1 時間実施した。また、1 階駐車場も不要な場合は消灯していた。	○
	照明設備の共用部分（廊下・階段・湯沸し室・トイレ）の人感センサー	使用していないフロアのスイッチオフ及び明るい場合に随時スイッチオフで人感センサーを非運用として無駄な照明を消灯した。	○
ガソリン使用量の削減	車両更新時に次世代自動車への更新（小型自動車）	小型自動車を HEV 車 5 台更新及び HEV 車 1 台導入した。	◎
	テレマティクスサービス導入による管理	全車両に機器の設置により、急加速・スピード超過等の監視によりエコドライブ及び安全運転に役立っている。	◎

4 エネルギー使用量の削減率

	平成 28 年度	昨年度 (令和 2 年度)	削減率
電気	78,387kW	81,587kW	+4%
ガソリン	34,971ℓ	32,581ℓ	7%

5 取組の改善策

具体的な取組内容	取組の改善策
電気使用量の削減	・ 時間外業務の低減を進める。
ガソリン使用量の削減	・ 「エコドライブ10のすすめ」に基づく運転：テレマティクスサービスによる運行管理 ・ 車両更新時に次世代自動車への更新：特に小型自動車

6 新たな目標も設定

(1) 地球温暖化防止対策

- ・ 自社の電気使用量の電力使用量合計分（計画能力:135 kW）の太陽光発電設備を設置するためのプロジェクトチーム発足し活動を展開する。

(2) 受託事業所の省エネ活動によるエネルギー使用量低減

- ・ 省エネ委員会主催の省エネパトロールにより事業所に対する指導・教育
- ・ 省エネに関する研修を企画・開催により、省エネ意識の高揚を図る
- ・ 提案活動の活性化（省エネ・作業・業務の各改善）

(3) 社会貢献活動

- ・ 本社従業員以外の受託事業者の従業員を巻き込んだ地域清掃の実施（6回/年）
- ・ 植樹の実施（1回/年） ※今年度、なごやグリーンウェーブ2021に参加
- ・ 従業員参加の献血活動継続及び地域近隣企業等に対し、献血参加拡大の取組（2～3回/年）

日本空調システム株式会社

名古屋市東区白壁1-9 担当者：本山（モトヤマ）

電話：052-961-2661 FAX：052-971-4738

E-mail：motoyama.kunio@system.nikku.co.jp

※当社の取組を詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.nikkusystem.co.jp/>